

關山  
中尊寺



金色堂中央壇增長天立像





本 堂



華 鬘 (国宝)  
け まん



東物見台



恩愛精舎

## 中尊寺本堂

御本尊は阿弥陀如来。天台宗東北大本山中尊寺の根本堂場である。明治四十二年に再建され、当山の宗教儀式はすべてここで厳修される。内陣には、総本山延暦寺より分火された「不滅の法灯」が現在もなお、法の灯をともし続けている。

## 恩愛精舎

現代に生きる人々の苦悩と不安に應えるため諸願成就の祈禱道場として昭和五十二年に建立された。

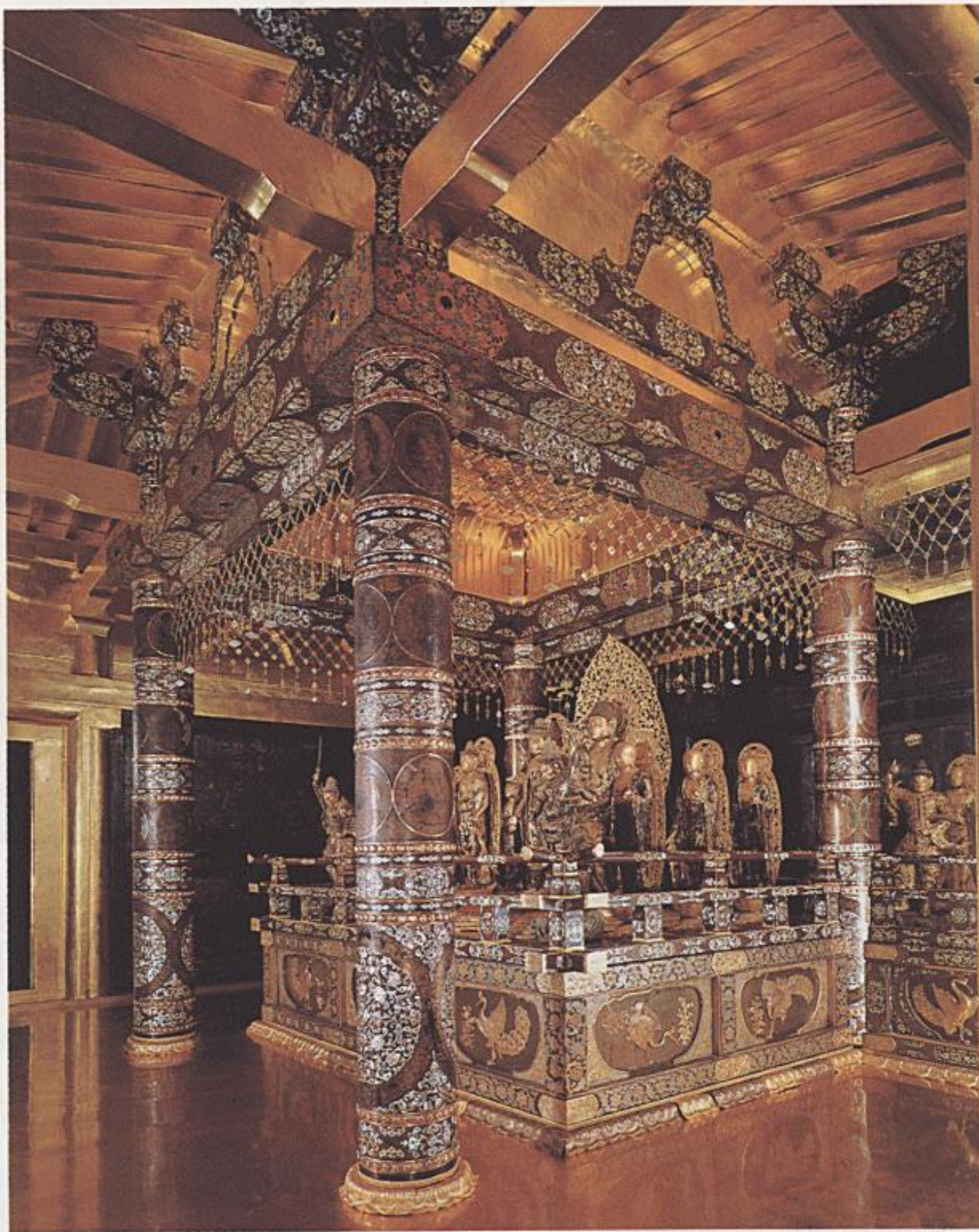
## 東物見台に立つと

「黄金花咲くみちのく」  
の風光がひらける。



## 金色堂 (国宝)

藤原清衡が十六カ年の歳月をかけて造立、天治元年（一二二四）に完成した。お堂全体に漆を塗り、金箔を押し、内陣は三壇に分かれ、金銀・螺鈿・珠玉をちりばめ、各壇にはそれぞれ阿弥陀如来を本尊とする十一体の仏像が安置され、極楽浄土の善美を表わしている。昭和三十七年から六カ年をかけて保存復元修理がほどこされ、現在の覆堂がかけられた。各須弥壇の中には、藤原四代の御遺体が安置されている。



金色堂内陣





金色堂覆堂



讚衡蔵



旧覆堂



資料館



経蔵

### 旧覆堂(重要文化財)

金色堂が建立されてから一六〇年後の正応元年(一二八八)に造られた。以来、六八〇年の間金色堂を保護してきたが、近代設備の新覆堂が建立された後、現在の場所に移築し保存されている。

### 経蔵(重要文化財)

中尊寺創建当初、二階造りの経蔵があった。現在の経蔵は建武四年の野火で上層部を焼失したものと伝えられる。御本尊は文殊菩薩。堂内には、紺紙に金字と銀字で行づつ書き分けた国宝・紺紙金銀字交書一切経や紺紙金字経が所蔵されていた。

### 讚衡蔵(国宝・重文を公開)

中尊寺一山に伝わる重要文化財等三千余点を収蔵し、国宝・華まん、灯台、八角須弥壇などの工芸の粹と、像高二六センチの丈六仏三体、藤原四代の棺・副葬品、秀衡復元像などを公開している。

### 資料館

中尊寺に伝承する白山宮神事祭札の資料や能装束のほか、古絵図古文書など貴重な文献を陳列。特別企画の展示も催される。



## 藤原四代公御遺体調査記録映画

昭和二十五年朝日学術調査団により藤原四代公の御遺体調査が行なわれ、その記録映画を約二十分間にわたり上映している。



中尊寺境内あんない図



中尊寺宿院

## 中尊寺宿院

- 閑静な宿坊では、精進料理、お餅料理、季節料理が随時調理されております。
- 二百名を収容できる大書院があり、各種の研修会、講習会や結婚式等の催しに広く利用されております。
- ご希望により座禅会、写経会、法話の会も申し受けます。



松寿庵

## 松寿庵 (中尊寺本坊境内)

昭和四十五年金色堂修理落慶を記念して裏千家家元千宗室宗匠の発願により篤志家松下幸之助氏の浄財をもって寄進された茶室。御希望の方はいつでも抹茶をいただけます。



## 中尊寺主な年中行事

月日	時間	行事	会場	月日	時間	行事	会場
1月1日 ～8日	10時	修正会	中尊寺本堂	7月17日	10時	清衡公御月忌	中尊寺本堂・金色堂
2月3日	午後1時	節分会	中尊寺本堂	8月14日	午後5時	中尊寺薪能	中尊寺能楽堂
3月19日	10時	基衡公御月忌	中尊寺本堂・金色堂	8月16日	午後3時迄	大文字まつり	駒形峯
3月24日	10時	開山会	開山堂	9月3日	10時	泰衡公御月忌	中尊寺本堂・金色堂
5月1日	10時	金色堂法要	中尊寺本堂・金色堂	10月28日	10時から	秀衡公御月忌	中尊寺本堂・金色堂
5月1日 ～5日	10時	春の藤原まつり	町内及び中尊寺境内	11月1日 ～3日	10時から	秋の藤原まつり	町内及び中尊寺境内

※毎月第一日曜日、お経を読む会…午後一時 中尊寺本堂

## 中尊寺概要

金色堂——といえば、中尊寺の、平泉文化の代名詞になっている。「正倉院」が奈良時代工芸の宝庫というならば、「中尊寺」は藤原時代工芸技術の宝庫である、といわれる。しかも、建築・木工・漆工・金工・絵画と各部門にわたる一級の美術品がセットとしてある。国宝・重要文化財三千余点、一つ所にこれだけの国指定文化財が現存する例は全国にも少ない。

十二世紀、藤原清衡はどのような意図で中尊寺造営に取りこんだのであったか——これは誰れもが考えるところであろう。奥羽の地に仏国土を建設するという深く広い志には、中央文化に遠く隔った未開地という地域性の現実の問題がある。そこから生ずる様々の悩みの処置を清衡は自らの仏道修善に求め、香り高い仏教文化を真心をこめて体现したのである。

## 天台宗東北大本山 中尊寺

〒〇一九四一 岩手県平泉町衣関二〇二  
電話(〇一九二)四六―三二二 代表